

## ◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2024年6月4日第127号—

### <目次>

●羽田新飛行ルートの中止を求めた2つの陳情が審議されました。

■川崎市、市議会会派による能登への支援活動の最新情報

▲お知らせコーナー

① 6/7・8 等々力緑地再編整備・運営等事業・オープンハウス型説明会

② 6/8 講演会 子どもの権利

--保育現場の実態・保護者の願いをみんなで考えましょう--

③ 6/8 今年の中学校教科書に向けての学習会教科書

④ 6/9 平和をきずく市民のつどい

⑤ 6/15 再開発・タワマンに異議あり！住民懇談会

⑥ 6/22 鹿嶋田・新川崎まちづくりの会-音楽行事と講演会-

⑦ 6/23 学校給食費無償化を実現する会結成のつどい

⑧ 6/28～7/3 戦争の加害展

⑨ 6/29 ゆめシネマ「マリウポリの20日間」

### ★編集後記

● 羽田新飛行ルートの中止を求めた2つの陳情が審議されました。

<「羽田新飛行ルート直下の実態調査に関する陳情」は不採択>

田町在住の山田美枝子さんが提出した陳情は、5月24日、まちづくり委員会で審議され、共産党井口議員が採択、他の会派の議員は「不採択」を主張、多数決で不採択になりました。陳情本文は以下です。

### 陳情の趣旨

- 1, 地元に足を運び、直下の子どもたち、保護者の皆さんの声を聞いてください。
- 2, その結果を「実態調査」としてまとめ、公表してください。

### 陳情の理由

#### 1, 被害の実態

2020年3月29日、突然、爆音をとどろかせ、飛行機会社のマークがはっきり見えるほどの低空飛行が始まって4年目です。

さらに、年明け1月2日、羽田空港で起きた、飛行機が火だるまになっている映像は、直下住民には非常な衝撃で増々不安が広がっています。

また、爆音で、子どもどうしイライラしている、などの話を親御さんからきいています。

## 2, 「川崎市子どもの権利に関する条例」

第2章(安心して生きる権利)第10条の(1)命が守られ、尊重されること。

第6章 川崎市子どもの権利に関する行動計画の中で、市は、子どもの権利が保障されるように、子どもにやさしいまちづくりの実現などの目標に合わせた3年間の行動計画をたてます。——以上のように書いています。

## 3, 私の経験

1958年(昭和33年)私は殿町小学校に入学、当時、成田空港はなく、羽田国際空港で、学校の上を、ひんぱんに飛行機が飛んでいました。

飛ぶたびに授業は中断、防音装置はゴロゴロ、騒音にびくびくしていました。私の体験を、次世代の子どもたちに、二度とさせたくありません。

### <「羽田新飛行ルートで想定される事故対策に関する陳情」は継続審議>

田町在住の橘孝さんが提出した陳情は、5月28日の総務委員会で審議され、継続審議となりました。

市民の命と安全な誠克を守ることは、市議会議員の大事な役割です。

継続審議で棚上げでは、議会の役割は果たせません。陳情者が求める3項目要求を、市民の共同の力で川崎市に求めていきましょう。

陳情本文は以下です。

### 陳情の要旨

本市の責任で、以下のことを行ってください。

- 1 コンビナートで事故が起きたときの「被害想定」を作ってください。
- 2 住民・コンビナートで働く人たちの「避難計画」を作ってください。

3 「被害想定」、「避難計画」を説明する「住民説明会」を開いてください。

## 陳情の理由

1月2日、羽田航空機事故のとき、騒然としました。改めて航空機事故の恐ろしさを目の当たりにしました。

町中で話題になっています。4年前から、南風るとき、真上を爆音をとどろかせて頻繁に飛んでいます。

私たちは騒音に苦しんでいます。

心身に影響を及ぼし、「窓を開けられない、テレビの音が聞こえない。」など、生活に支障を来しています。

また、落下物や航空機事故が起きたら大惨事になります。

「コンビナートで事故が起きれば助からない。」という声が多数あります。

いつもひやひやしながら生活することを余儀なくされています。

もし、事故が起きた場合、被害がどのように及ぶのか、どのように避難したらいいのか、私たち住民に直接説明してください。

## <市民の声がなぜ届かない！>

陳情文を読めば、どちらも反対する理由が見つかりません。

それでも、あれこれの文章のあら捜しをして、採択しようとならない議員が多数をしめているのです。

この事実を、一人でも多くの市民に伝えましょう。(H)

## ■川崎市、市議会会派による能登への支援活動の最新情報

川崎市では、能登地震発災後、1月9日(火)から2月13日(火)まで36日間、輪島市町野町、市ノ瀬町等へ、延べ64隊256人の消防職員を派遣し人命救助と復旧に当たりました。

また、給水支援、上下水道施設の早期復旧を支援するため川崎市の下水道担当職員派遣、看護師派遣等々、様々な支援を行なっています。

又、市議会、各党で義援金を集めて被災地に送る活動も行なわれてきました。

最新の活動では、日本共産党川崎市議団が、5月21～22日に被災者支援活動を行いました。  
以下は、市議団による被災地の現状の報告です。

日本共産党川崎市議団は、5月21～22日に能登半島地震の被災者支援活動に参加して来たので、ご報告します。

### <火災後手つかずになっている朝市の火災現場>

参加は宗田団長、井口副団長、石川、小堀、市古、齋藤議員と事務局員2名です。(渡辺副団長、後藤議員は公務のため不参加)

1日目は、新高岡でレンタカー2台を借り、石川県羽咋(はくい)市にある、能登半島地震被災者共同支援センターに昼頃到着。

車の販売所だったところがセンターの事務所になっており、駐車場や支援物資の置き場が広く確保されているところでした。

まず、支援センターの黒梅事務局長に市議団からの募金をお渡ししました。

黒梅事務局長から、「今日は輪島市を中心に視察をし、明日は仮設住宅に支援物資を届けながら聞き取り作業をしてほしい」と指示をいただいたので、昼食をとって輪島市へ。

車で2時間かかりましたが、朝市の火災現場やテレビで報道された倒れたビル、道が隆起して盛り上がったマンホール、崩れた家屋などそのままになっている被災地の状況を視察しました。

現地に来てみないとわからないことがたくさんあり、火災後手つかずになっている朝市の火災現場では言葉を失いました。

### <仮設住宅の避難者の皆さんの聞き取りからは、要望が次々と…>

2日目は、9時に支援センターに集合し、旧御祓(みそぎ)中学校グラウンド七尾市仮設住宅に支援物資を届けながら要望をお聞きする行動を行いました。

支援センターで物資を車3台に積み込み、95戸の仮設住宅へ。

3組に分かれ、訪問しました。

23世帯の方とお話しでき、物資(米、水、ティッシュ、トイレトペーパー、カレンダー)をお渡しするところでも大変喜ばれました。

お話を聞くと「自宅が半壊と言われたが、もう住めないで困っている。5万円の慰労金だけではとても足りない」

「避難所で母親の認知症が進み、看護師のいる避難所に移動したいと希望したが時間がかかり、移動するバスの中で亡くなった」

「賃貸住宅に住んでいた人は仮設住宅に入っても1年たったら出なければならず、近くに集合住宅がないので困っている」

「BSが映るように役所の人に頼んだが、まだやってもらえない」などなど要望を含めて切実なお話が聞けました。

ひと通り訪問した後、残りの物資を広げてお渡ししていると、訪問した家の方たちが出て来られ、住民同士の交流もされていました。

支援センターに戻り、聞き取った住民の方の要望を伝え、帰路に着きました。

ボランティアとしては短い時間しか行動できず不十分でしたが、学ぶことの多い2日間でした。

この経験を活かし、今後の議会に取り組みます。

また川崎でも能登の被災地のことを皆さんに伝え、ボランティアや募金活動につなげていきたいと思えます。

加藤史子通信員(日本共産党川崎市議団事務局)

## ★お知らせコーナー

### ① 等々力緑地再編整備・運営等事業・オープンハウス型説明会

6/7(金) 15:00～20:00

6/8(土)10:00～15:00

Uvance とどろきスタジアム byFujitsu

[詳しくはこちら](#)

### ② 講演会 子どもの権利・保育現場の実態・保護者の願いをみんなで考えましょうー

講師 中西新太郎氏 横浜市立大学名誉教授

6/8(土)14時～15時

@:川崎市総合自治会館コスギサードアベニュー 4F会議室

参加費 500円

主催:川崎のよりよい保育・子育てを考える会

[詳しくはこちら](#)

### ③ 今年の中学校教科書に向けての学習会

—子どもたちに手渡したい教科書とは—

講師:糀谷陽子さん(子どもと教科書ネット 21 事務局長)

6/8(土) 13 時半

@ 中原市民館 第 3・4 会議室

資料代:500 円

連絡先:川崎合同法律事務所:橋本

[詳しくはこちら](#)

### ④ 平和をきづく市民のつどい

記念講演:羽場久美子氏(13 時半より)

「アジア諸国と協力して日本の未来を」

6/9(日)10 時～15 時

川崎市平和館

入場無料

[詳しくはこちら](#)

### ⑤ 再開発・タワマンに異議あり！住民懇談会

6/15(土)14 時

@宮前市民館第 4 会議室

鷺沼、登戸、武蔵小杉の現状と市民の運動の報告

資料代 500 円

連絡先 080-6758-4252 猪俣

### ⑥ 音楽行事と講演会「人間の顔をしたまち」

—一人と地域をつなぐ南武線に—

6/22(土)14 時～16 時

@ 新川崎・鹿嶋田駅周辺整備事務所

参加費:500 円

・日本の民謡と尺八演奏

- ・南武線開かずの踏切解消、報告と意見交流
  - ・まちづくり講演会「環境にやさしい住まい——その2」
- 講師:金田正夫氏 無垢里一級建築事務所主宰・工学博士  
連絡先:080-1225-5411(佐藤)

[詳しくはこちら](#)

#### ⑦ 学校給食費無償化を実現する会結成のつどい

6月23日(日)10時～ 産業振興会館研修室

連絡先 市古(090-7830-8030)

[詳しくはこちら](#)

#### ⑧ 戦争の加害展

6月28日～7月3日

麻生図書館内麻生市民ギャラリー

連絡先 若槻(080-8725-8360)

[詳しくはこちら](#)

#### ⑨ ゆめシネマ「マリウポリの20日間」

6/29(土) ①9時 ②12時 ③15時 ④18時

@かわさきゆめホール

一般:1,000円 障がい者:500円 学生以下:200円

要予約・無連絡:+500円

044-433-3003

[cinema@kawasakiyume.com](mailto:cinema@kawasakiyume.com)

[詳しくはこちら](#)

[公式サイト](#)

#### ★編集後記

NHK 朝ドラ「虎に翼」から目が離せません。

いきなり日本国憲法から始まり、5/31には再び日本国憲法の話に。

終戦から1年後の1946年(昭和21年)11月3日に公布された「日本国憲法」そして第14条、「す

べて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」が大きくクローズアップされます。

それまでの女性の社会的地位がどれほど低かったかをここまで描いてきました。

しかしこの憲法が生まれてもなお、女性の地位は簡単に向上しないことがこれから描かれていくでしょう。

ところで、ドラマの中で「登戸」が出てきます。

川崎市民としては、ビビッと来る場所。

実際、三淵嘉子の父は、銀行時代の人脈を活かして日本防災工業の社長に就任、登戸に工場がある昭和火工株式会社の専務を兼任。

焼夷弾や発煙筒を作る軍需工場で、登戸研究所ともつながりがあったようです。

東京の家は引き倒しになり、嘉子は福島に疎開。父と母は登戸の社員寮で生活。

空襲の被害は免れたものの、戦後、軍需工場は操業停止。生活が荒れ、飲酒量が増え、1947年10月肝硬変で亡くなったそう。

寅子の口癖「はて？」は早くも今年の流行語大賞候補。

私たちも、支離滅裂の福田市政に「はて？」を大量に突きつけ、タジタジとさせたい。(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

[mailmag@newkawasaki.jp](mailto:mailmag@newkawasaki.jp)

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。



[https://my922p.com/User/cancel\\_mail/fMwwpqj4/PI95J7qVL0ET?mail=talosxxx%40gmail.com](https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/PI95J7qVL0ET?mail=talosxxx%40gmail.com)

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

[mailmag@newkawasaki.jp](mailto:mailmag@newkawasaki.jp)